

2位

題名 日本のとりこになった

ジョゼップ バウティスタ スペイン ヨシダ日本語学院

日本へ来たのは三回目です。一回目は2009年、友達七人と旅行のために来ました。みんな大学のアジア文化クラブの仲間で、日本の文化やアニメ、漫画が好きでした。それで日本に旅行することに決めました。私はその時、挨拶と簡単な言葉ぐらいしか分かりませんでした。バルセロナから飛行機で12時間ぐらいかかりました。みんなすごく疲れていたのですが、東京の初めの一步はまぶしかったです。その時、桜が咲いていて、東京はピンク色でした。「この美しさはやばい、夢みたい、絶対もう一度来たい」と思いました。2週間の旅行だったのですが、バルセロナに帰った時、父が「ジョゼップの目は変わった、ジョゼップはまたすぐ日本に行くはずだ」と言いました。

それから日本語を一生懸命勉強して、次の年にまた日本へ来ました。2010年の夏休み、京都のホストファミリーの家に2カ月住みました。本当の日本の生活を味わってみたかったのです。時々友達と大阪に遊びに行きました。懐かしい感じがしました。大阪はバルセロナに似ていると思いました。港、水族館、海の匂い、道頓堀、元気な人々、すべてがバルセロナに似ていました。しかし、2カ月しか住むことができませんでした。実はその時、私はバルセロナの大学の大学院生でしたから、帰らなければなりませんでした。日本から帰るとき、成田空港で号泣してしまいました。私はもっと日本に住みたい、でも、なぜこんなに日本に住みたいのか、その理由は自分でもわかりませんでした。

2011年にバルセロナの大学を卒業しました。「やった、また日本に行ける、これから日本に行くためにお金を貯めよう」すぐに仕事を見つけて貯金を始めました。2012年にチャンスが来ました。また日本に留学することができました。今まで9カ月ぐらい東京に住んで、いろいろ経験して私の気持ちは変化しました。住み始めて、色々なことに気がつきました。私の考え方はスペインより日本社会のほうがあっていると思います。例えば、スペイン人はルール、約束、時間を守らない、約束の時間に1時間ぐらい遅れても、あまり気にしません。5時に約束しても皆が来るのは6時です。市役所もそんな感じ。書類がいつできるかわかりません。私はスペイン人ですが、スペインのそういうやり方が好きじゃありません。友達と約束したら、私は10分前に行きます。ルールやスケジュールはきちんと守るべきだと思います。日本だったら、電車が1分遅れても説明して謝ります。スペインにいた時はみんなが時間を守らないので、すごくストレスがありました。日本に来てそのストレスがなくなりました。日本のレストランや店のサービスは素晴らしいです。その理由は、日本人は自分の仕事をきちんとやろうという責任感を持っているからだだと思います。私がスペインで働いていた時、仕事に遅刻したり、やる気がない人も多かったです。みんなはどうしてちゃんと働かないのだろう、私には理解できませんでした。今、日本人がきちんと働いているの見て、私もやる気が出てきます。

一回目と二回目に日本に来た時は、ただ日本に興味があるだけでしたが、三回目の今はなぜ自分が日本に住みたいかわかりました。生まれた所は選ぶことができませんが、それからどこへ行くかは自分で選ぶことができます。皆さんもチャンスがあったら色々な所で生活して、色々な経験をしたらいいと思います。そうすると自分の考え方や自分がどういう所に合っているかが分かります。皆さん、これからももっとチャレンジしましょう。